

1 磐田市の諸課題と今後の発展について

(1) 商業施設ららぽーと磐田について

① 開店9周年である。磐田市の大規模商業施設として市の現在の認識を伺う。

② 情報館の役割と、実態、課題があれば伺う。レンタルサイクルの利用状況と今後について伺う。

(2) ららぽーと磐田北側の温泉宿泊施設予定地がそのままである。現状と今後の方向性を伺う。

(3) 2016年4月、ららぽーと磐田南側にスマートアグリカルチャー事業が開始された。システムの富士通株式会社と販売のオリックス株式会社、種苗の株式会社増田採種場の3社による次世代型農業の集積を進めている。現状と課題、今後の見通しを伺う。また、楽天が障がい者就労をこのエリアで進めて行くとのことだが、雇用規模、就労形態、就労内容等を伺う。

(4) 磐田市都市計画マスタープランが今後20年先を見込んで作成された。遠州豊田PAスマートIC周辺が都市拠点に位置付けられた。現存稼働している工業団地の北側、ブリヂストンまでの間の26.6haの区域を面的整備検討地区として新たな工業用地の拡大を検討する方針が出された。今後の構想を伺う。

(5) 「ながふじ学府一体校の基本計画」が公表された。これまでに「新たな学校づくり検討委員会」で、豊田中学校と豊田北部小学校を一体校として運営をスタートし、将来的に豊田東小学校を含めた学府一体校を目指すこと、校舎は現在の豊田中学の敷地に建設すること等の方針がまとまった。

① 磐田市の学府一体校の必要性は、学力や英語の力のさらなる向上・不登校児童生徒数や問題行動のさらなる縮減・小中一貫教育の推進・20年から30年先を見据えた新たな学校づくりの創造・「人間的つながり」の希薄化に対応した新たな学校づくりの創造といった教育課題を解決するため、と認識している。今回は向上型学府一体校のス

タートではあるが、豊田東小学校もながふじ学府として、同じ教育課題の解決のためにスタートするという認識でよいか伺う。具体的にどんな形で進めて行くのか伺う。

② 「将来的に豊田東小学校を含めた学府一体校をめざす」とあるが、将来をどのような条件や基準を想定し、大まかな時期はいつ位なのか伺う。更に、将来的にながふじ学府一体校への段階を考えると、豊田北部小地区と豊田東小地区の児童が新築の一体校と現存の豊田東小学校を合わせて使用していくということか。方向性を伺う。

③ 現在、豊田東小学校に通っている児童がながふじ学府一体校に通う可能性が今後検討されていくと考えるが方向性を伺う。

(6) 磐田市は、東西に走る主要道路に比べ、南北に走る直線の基幹的な主要道路が少ない。防災や商業・農業・産業の振興、観光や文化交流、命に繋がる磐田市立総合病院や介護施設・保育施設などの充実の視点から南北の主要道路整備は不可欠と考えるが認識を伺う。